

平成 29 年 10 月 15 日（日）宮城県仙台市の東北大学大学院医学系研究科・医学部星陵キャンパス 臨床講義棟 2F にて、東北支部学術集会在開催されました。肌をなでる風が涼やかで凜とした空気を感じる秋空のもと、総勢 54 名の方が参加されました。



特別講演 1 「牧田総合病院における鍼灸治療の取り組み」というテーマで、牧田総合病院 東洋医学科 牧田中医はりきゅう治療室 石塚僚司 先生にご講演いただきました。鍼灸師として病院内での役割また地域との関わりなど、貴重な診療風景を提示していただきながらお話しいただきました。医師から大きな信頼を寄せられた理想的な医療連携が示されていました。鍼灸師として発奮を促されるような講演内容でした。

医療連携について講演される 石塚僚司 先生

特別講演 2 「鍼灸師の先生方と築いていく医学部教育、病鍼連携」というテーマで、東北大学病院 漢方内科 准教授 高山真 先生にご講演いただきました。医学部教育において過去のエビデンスに固執せず、バックグラウンドとして患者の好みや行動を参考に、さらに新しいエビデンスを作るようにご指導されているとのお話は医心の真髄を再認識させられました。そして講義で実際に鍼灸を体験させることで、理解普及をはかり、病鍼連携につながるよう構想されているとのお話は、鍼灸師として福音となるお話でした。また学会同士の連携についてご提案いただき、次年度の弾みとなるご意見を伺いました。



病鍼連携について講演される 高山真 先生



福島県立視覚支援学校  
伊藤勇太さん（右）  
緑川秀太さん（左）

午後からは学生発表として、『「冷え症」の有無による、鍼刺激時の末梢皮膚温度変化の違い』安田毅彦さん（赤門鍼灸柔整専門学校）、『鍼による筋パフォーマンス向上への提案 ～3つの条件下での前腕筋群収縮における「A：筋初期出力・B：筋出力維持・C：筋疲労回復」の特徴と比較～』伊藤勇太さん、緑川秀太さん（福島県立視覚支援学校）、『小児はりって？』石塚浩太さん（福島医療専門学校）、『多角的測定による反応点と経穴との比較』川崎公大さん（赤門鍼灸柔整専門学校）が発表され、一般口演として3題の発表がありました。



福島医療専門学校  
石塚浩太さん

次回は1月14日（日）福島県郡山市 郡山地域職業訓練センターを会場としてA/B講座を開催します。